

ようじき
幼児期までのこどもの^{そだ}育ち^{かか}に係る^{きほんてき}基本的なビジョン

はじめの
100^{げつ}か月の
^{そだ}育ちビジョン

The first
100 months of
growth vision



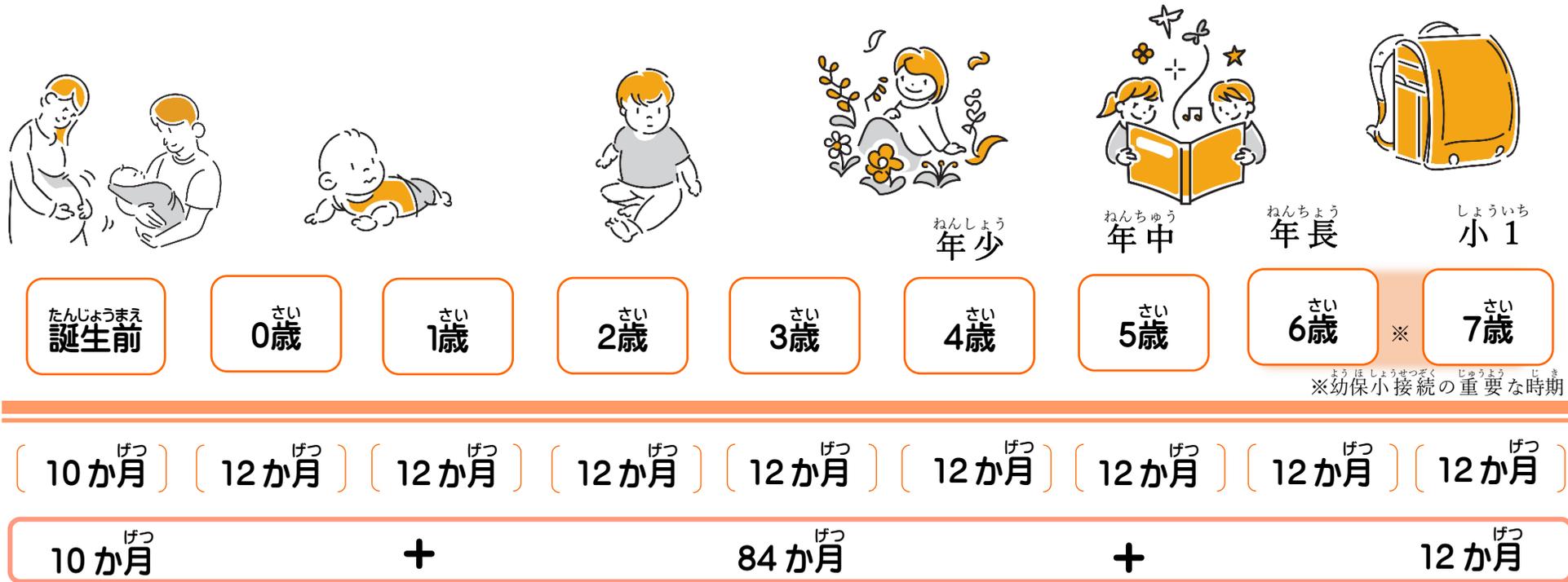
こどもまんなか
こども家庭庁

「はじめの100か月の育ちビジョン」とは？

- ✓ こどもの小学校1年生までの重要な時期に、一人一人が健やかに育つことができるよう、みなさんに大切にしてほしい考え方をまとめました。
- ✓ すべての人に「はじめの100か月の育ちビジョン」に共感してもらうことで、社会の考え方を
変えていくきっかけをつくとともに、「羅針盤」が進むべき方向を指し示すように、
国や自治体がどのような政策に取り組んでいくべきかを示す役割を果たします。



「はじめの100か^{げつ}月」とは？



✓ お母さんがこどもを妊娠してから、小学校1年生までが、だいたい100か^{げつ}月 (※)。

✓ 長い人生において、人格の基盤を築く、はじめの重要な時期というメッセージが込められています。

※誕生月によって変動あり。94~106か^{げつ}月⇒概ね100か^{げつ}月。

「はじめの100か月の育ちビジョン」はなぜ必要？

「はじめの100か月」は、人生を幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすため、特に大切な時期です。
しかし、すべてのこどもがひとしく、健やかに育つことができるのかについては、課題があります。



生まれるとき、

園などに入るとき、

小学校に入るときや、

家庭、

園、

こどもについて
の関係機関、

地域

などの間に「切れ目」が多いため、

- ✓ 社会全体で幼児期までのこどもの育ちを支える共通した考え方を広め、
- ✓ 「はじめの100か月の育ちビジョン」に関連する取組を力強く進めていく、道しるべが必要です。

ウェルビーイングとは？



「はじめの100か月の^{げつ}育ち^{そだ}ビジョン」では、

「^{しあわ}幸せな^{じょうたい}状態」を

^{しんたい}身体、^{こころ}心、それを^と取り^ま巻く^{かんきょう}環境や^{しゃかい}社会の^{じょうきょう}状況、

すべての^{めん}面で^よ良い^{じょうたい}状態にあることとして^{とら}捉えており、

これを^{せんもんようご}専門用語で「ウェルビーイング」と呼^よんでいます。

バイオサイコソーシャルとは？

人間は、「^{しんたい}身体」や「^{こころ}心」、^{まわ}「^{かんきょう}周りの^{しゃかい}環境や^{かたち}社会」によって、^{かたち}形づくられています。

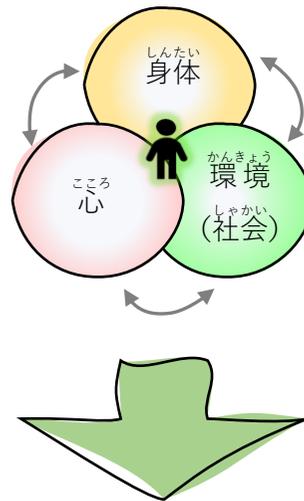
これら3つの^{じょうきょう}状況を^{ぜんたい}全体として^み見ることで、^{こども}こどもが^どどのような^{じょうたい}状態にあるかを^{はあく}把握することができます。

 ^{しんたいてき}身体的 (バイオ)

 ^{せいしんてき}精神的 (サイコ)

 ^{しゃかいてき}社会的 (ソーシャル)

バイオサイコソーシャルな^{めん}面で^よ良い^{じょうたい}状態・^{しあわ}幸せな^{じょうたい}状態



これらを^{ほしょう}保障することは、すべての^{ひと}人の^{こうじょう}ウェルビーイング向上につながります。

なに
何を大切に
するの？

ようじき
幼児期までのこどもの育ちの **5** つのビジョン



01 こどもの権利と尊厳を守る

02 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める

03 「こどもの誕生日前」から切れ目なく育ちを支える

04 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする

05 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す



こども基本法^{きほんほう}を踏^ふまえて、^{けんり}権利や^{そんげん}尊厳を^{まも}守る



- ✓ ^{にゅうようじ}乳幼児は^う生まれながらに^{けんり}権利をもっている

すべての^{にゅうようじ}乳幼児が^{たいせつ}大切に^{そだ}育てられている。



- ✓ ^{にゅうようじ}乳幼児の^{せいめい}生命や^{せいかつ}生活を^{ほしょう}保障する

どんな^{かんきょう}環境や^{じょうきょう}状況にあっても、^{せいめい}生命・^{けんこう}健康・^{いしょくじゅう}衣食住などが
^{まも}守られている。



- ✓ ^{にゅうようじ}乳幼児の^{おも}思いや^{ねが}願いを^{そんちょう}尊重する

^{にゅうようじ}乳幼児は、^{ことば}言葉だけでなく、^{さまざま}様々な^{かたち}形で^{おも}思いや^{ねが}願いを^{ひょうげん}表現。

^{ひとりひとり}一人一人のペースに^{おう}応じて、それらが^{そんちょう}尊重されている。

02

「安心と挑戦の循環」

を通してこどもの
ウェルビーイング
を高める

にゅうようじ そだ
乳幼児の育ちには、

あんしん ちょうせん く かえ たいせつ
「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切



ゆた あそ たいけん
豊かな遊びと体験



さまざま ひと しぜん えほん かんきょう であ きょうみ かんしん
様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に

おう あそ たいけん そと せかい ちょうせん
応じた「遊びと体験」をすることで、外の世界へ「挑戦」



あいちやく
アタッチメント（愛着）



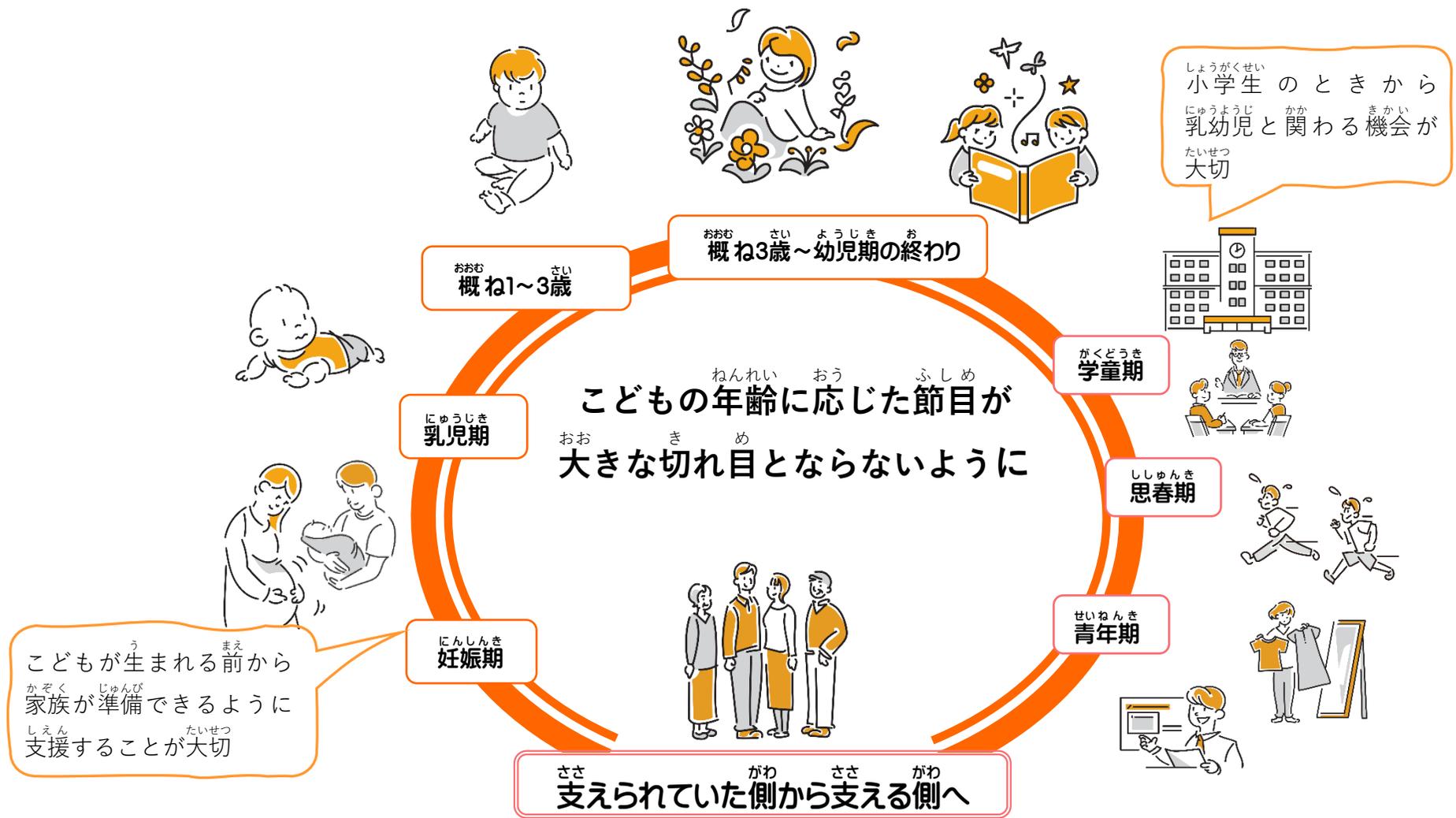
ふあん みぢか おとな よ そ あんしんかん
こどもが不安なときなどに身近な大人が寄り添うことや、安心感

けいけん く かえ あんしん どだい きず
をもたらす経験を繰り返すことが、「安心」という土台を築く

「こどもの^{たんじょうまえ}誕生前」
から^き切れ目なく
^{そだ}育ちを^{ささ}支える

そだ ^{かんきょう} 育ちの環境を^き切れ目なく^めつくり上げ、

じ ^{せだい} 次世代を^{ささ}支える^{こうじゅんかん}好循環をつくる



こどもを育てる、**保護者**や**養育者**を支える



- ✓ **支援・応援を受けることを当たり前**

ほごしや よういくしや しあわ じょうたい
 保護者や養育者が幸せな状態（ウェルビーイング）であり、
 おや せいちょう しえん おうえん ふかけつ
 親として成長できるよう、支援・応援は不可欠。



- ✓ **すべての保護者やこどもとつながること**

ほごしや ひつよう しえん
 すべての保護者やこどもが必要な支援につながるよう、
 せってん くふう か
 接点づくりなどの工夫が欠かせない。



- ✓ **保護者・養育者がこどもと「共育ち」**

ほごしや よういくしや じしん ともそだ
 保護者や養育者自身も、「こどもとともに育っていく」とい
 してん たいせつ
 う視点が大切。

こどもまんなか
こども家庭庁